



フィリピン日系2世 父の法要に参列

戦前、フィリピンに渡った大分市出身の男性と現地女性の間に生まれ、初来日している残留日系人2世の利光カルロス(日本名カスオ)さん(76)が20日、大分市萩原の長久寺であった父親の五十回忌法要に参列した。写真(右)。

戦前、フィリピンに渡った大分市出身の男性と現地女性の間に生まれ、初来日している残留日系人2世の利光カルロス(日本名カスオ)さん(76)が20日、大分市萩原の長久寺であった父親の五十回忌法要に参列した。写真(右)。

戦前、フィリピンに渡った大分市出身の男性と現地女性の間に生まれ、初来日している残留日系人2世の利光カルロス(日本名カスオ)さん(76)が20日、大分市萩原の長久寺であった父親の五十回忌法要に参列した。写真(右)。

戦前、フィリピンに渡った大分市出身の男性と現地女性の間に生まれ、初来日している残留日系人2世の利光カルロス(日本名カスオ)さん(76)が20日、大分市萩原の長久寺であった父親の五十回忌法要に参列した。写真(右)。

戦前、フィリピンに渡った大分市出身の男性と現地女性の間に生まれ、初来日している残留日系人2世の利光カルロス(日本名カスオ)さん(76)が20日、大分市萩原の長久寺であった父親の五十回忌法要に参列した。写真(右)。

戦前、フィリピンに渡った大分市出身の男性と現地女性の間に生まれ、初来日している残留日系人2世の利光カルロス(日本名カスオ)さん(76)が20日、大分市萩原の長久寺であった父親の五十回忌法要に参列した。写真(右)。